

拝啓、先日はお忙しい中お電話を頂き誠にありがとうございました。
お電話での先生のお声を拝聴する限りでは、大変お疲れの様子
で、毎日夜遅くまで分刻みで応診に回わられているのではないかと
ご推察いたします。どうか早くもお身体を大切になさって下さい。
さて、母が特養に入所してから今日へ してちょうど一ヶ月になりました。
実家から車で五分から十分で行き来できる距離は本当に
ありがたいことです。私がどう今では近くで遠い施設になってしま
いました。と言いますのも、母とは今迄まだ一度も面会出来ていま
せん。施設側の説明では、息子さんと会うことで興奮して帰宅願望
なるので、いき意味で本人が躊躇ついて穏やかになるまで待そ下さい
と言われました。ですので毎週末母の身の回りの物と茶菓子(三
ツト十石金魚の十個分)を持参して、その際に職員から母の様子をうか
げたりでございます。

12 施設の看護員から連絡があり、母が

で

病院へ運ばれたので、これから施設に来て頂けますかと言われ、私はその日も予定を変更して施設へ行きました。母は既に病院から戻り、そこでおやじ母に会うことになりました。しかし、その受け渡しで、顔がむくんで、前の傍近くになり、オムツにもなっていました。

母は私の顔を見て、「どこの子? どこの子?」と訊いたので、私は動転しそうな思いを抑え、母の手を握り、肩をさすりながら母の耳元で「お母さんの子だよ。」

「だよ。」と言うと、母は「会ったかったよ」と答えたが、母は遠端、今度は「胸が苦しい」と私に訴えました。相談員の話では、サキレーンヨンが七十%台でかなり低く、昨日から食欲がないので、点滴をしました。今は九十%台で回復したとのことです。私はまた自宅に戻りました。在宅酸素吸入器を持参し、その後は母が少し落ち着いたようですが、咳鳴だからこの日も母が興奮するといけないということで、五分程度帰られました。

私は、帰りの車の中で、ハンドルを握りながら溢れる涙を抑えろ事が出来ませんでした。

私のしたことは、間違ったのでしょうか？ 母は本当に今の生活環境の中で幸福なのですか？ 前の家での生活、家族への思いを遠ざけることで、家族にとっても母にとっても良いことなのでしょうか？ 様々な疑問や悲しみで胸が張り裂けたと何と手につきません。

人気のない母の実家に戻り、全ての窓を開けて空気を入れ換え、母の寝室を掃除していくと、寝室の扉に貼ってある書き初めを見て、私は愕然としました。その書きは、母が十年前に別の施設のティザーヒスで書いたもので、大きな二文字で

と書かれていました。

今母が入っている施設のユニット名が
でしあうか？ 母にとっての
は施設の中ではなく、本当は母の家の
中にあるような気がしてならないのです。

私の心の奥で、母の最後の最期は家で看取るといつ考え、か涌いてきました。この絵画は無茶でしょうか？

先生、お教えて頂けますか？ おせじ半大変失礼と存じますが、
お時間がございませんから、簡単な手紙で結構です。宜しく

赤鷹山中一上り手

蔽
興